

ホホバ 頒布会便り



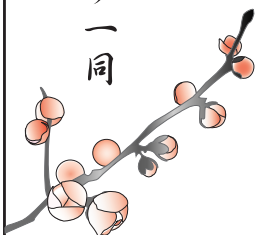
発行
毎月一回
ホホバ頒布会

謹賀新年

本年が、皆様にとって幸多き一年となります様、心よりお祈り申し上げます。
また、今年も皆様のお健やかな毎日の為、頒布会スタッフ一同、より良い品と真心をこめてお届けしてまいります。
本年も、変わらぬご愛顧を、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成三十年 元旦

頒布会スタッフ一同



幸福を招く

「縁起」とは？

暮れに、酉の市に熊手を買いに行ってお正月の飾りを準備したり、年が明ければお節料理や初詣など、年末年始は何かと縁起物に触れる事が増える時季です。

この、「縁起が良い・縁起を担ぐ」等、昔から言われている「縁起」とは、元来、仏教から来た言葉。

万物が因縁によって生じる、因縁生起の略で、今では吉兆の前触れや兆し、という意味で縁起が良い・悪いという風に使われています。縁起を担いだ日本の風習はお正月に限らず色々ありますが、年のはじめに良い

初夢を見たり、茶柱が立ったりすると、それだけで気分の良いものですね。

知っておきたい

縁起物や

幸運の印

地域や時代によって、少しずつ「縁起」の自身は変わっていきますし、日本だけでなく世界中で、幸運の前触れ、と言われる物や事柄は沢山あります。

ちよつとした事で幸せな気分になれる、縁起の良い事やもの。

次ページでは、縁起物や、幸運の印、と言われる事柄のあれこれをご紹介します。



縁起を担いで福を呼ぶ!

「こいつは春から縁起が良いわい」という、お馴染みのこの台詞。これは元来は歌舞伎の台詞で、三人吉三という演目の中に出て来ます。ここでいう春とは新春、つまり正月の事ですから、ちようど今頃の時季に何か良い事があったら、歌舞伎を真似て言ってみるのも一興ですね。

◆テントウムシ

お天道様と同じ字を当てて「天道虫」とも書き、縁起の良い虫といわれています。



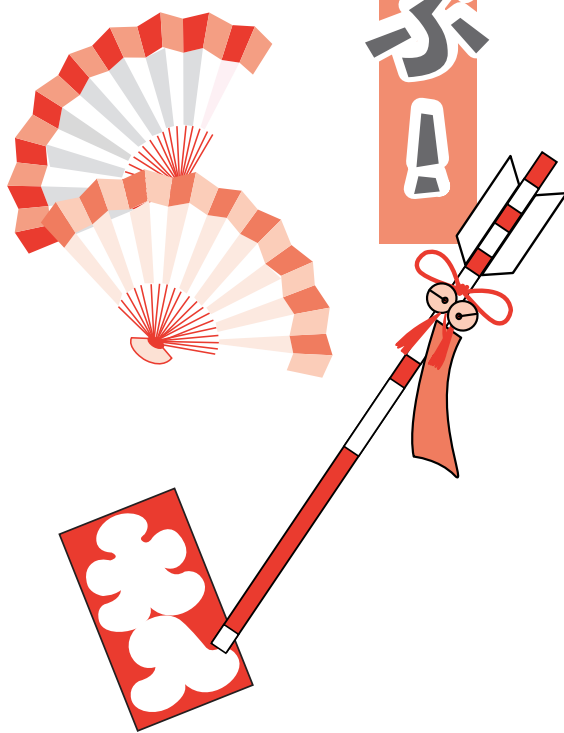
光に向かって進む習性も、前向きな良い行動と見られ、日本だけでなく、世界中で幸運の印として

愛されているテントウムシは、背中の星の数だけ幸運を持つ、ともいわれ、星の数が多いほど良いとされています。

その中でも、七つ星を見つけると、金運がアップする、といい、若い女性の手にとまると恋人が出来る・結婚が近い、とも言われています。

◆ツバメが巣を作る

家の軒先にツバメが巣を作ると、家が繁栄する、と言われますが、日本各地で少しずつ内容は違い、栃木・千葉では「病人が出ない」秋田・山形・愛知・山口は「火事にならない」等とされています。その他にも色々な説があります。全国共通で、繁栄の象徴とされ、吉事あり・縁起が良い、といわれています。



◆茶柱が立つ

昔から言われていて、良く知られているのが茶柱。

朝入れたお茶の茶柱が立っていると良い、とされています。

茶柱が立った時は、人には言わずに黙って飲み込むのが吉。

また、昼以降に

立った茶柱は、自分の吉ではなく、他人のもの、といわれています。



◆服を裏返しに着る

ちょっと変わったものでは、服を裏返しに着てしまったら、幸運が訪れる、というもの。

これは、服を着る時に、気付かずに裏返しに着てしまった場合だけで、ワザと裏返しに着ても幸運↘

↙は期待できません。

間違いに気づいて、服を着直している間に、願い事を唱えると良いでしょう。

◆虹を見つける

虹は、縁起の良いものとして、世界各国でも、同じような言い伝えが沢山ありますが、そのほとんどが、虹を見ると良い事が起こる、願い事が叶う、というもの。

雨は大地を浄化し、その後にかかる虹は、新たなスタートの祝福の印。天からの贈り物、とも言われています。

特に、晴れているのに雨が降る、「お天気雨」の時に太陽にかかる虹が良いと言われ、出産や結婚等、門出の日に虹を見つける事が出来れば最高です。

◆招き猫

招き猫といえば、商店の店先によく置いてある縁起物。

この招き猫は、上げている手でご利益が違ってきます。

右手は金運や幸運を呼び、左手はお客や人を呼んで、縁結びにも色は白地の三毛猫のものが多くありますが、色つきの物では、赤は病除け、黒は厄除けに良いといわれています。

最近では、風水と絡めて沢山の色のついたものが増えていますから、自分に合った招き猫を飾るのも良いでしょう。

飾る時は、扉の方向に向け、人の目線より高い所に置いてください。

